

SUPPORTERS CLUB NEWS

友

友の会 会報

TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

〒039-2501
青森県上北郡七戸町字荒熊内67-94
七戸町立鷹山宇一記念美術館内
鷹山宇一記念美術館友の会
〈TEL〉0176-62-5858 〈FAX〉0176-62-5860
〈e-mail〉info@takayamamuseum.jp

■写真は、青森県五戸町・三浦牧場の華陽壁画。去る3月5日、当館主催の講座「アート・ツアー」でお邪魔した際の様子です。収集作家の一人・馬を描く画家=上泉華陽が残したこの貴重な壁画は、昭和26年頃から5～6年掛けて制作されたといわれます。二間続きの漆喰の壁の、大きな壁面には墨で2頭の馬が、その上部四方に「競走馬のレース優勝まで」が油彩で、もう一間の上部四方には墨で「放牧地の馬千頭」がパノラマで壮大に描かれています。半世紀もの歳月を経てなお当時のままの姿で大切に保管されている華陽壁画。このたびの地震も乗り越え健在との報を受け、安堵しております。幾度となく襲ったであろう困難を克服して今日に至る、この壁面に描かれた雄麗な馬たちは、「強く、やさしく、しなやかに生きよ!」そう、ささやいているかのようです。



この度の大震災で犠牲になられた方々のご冥福を心よりお祈り申しあげ、ご遺族の皆様に対し、深くお悔やみ申しあげます。被害を受けられました皆様の安全とご健康、被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申しあげます。

3月11日午後2時46分、太平洋三陸沖を震源とする大地震にはじまったこの大震災で、日本は戦後最大の危機に見舞われました。東日本を中心に被害は広範囲に及び甚大、大勢の方が亡くなられ、行方不明の方も多数、建物の損壊はもとより、大津波により町そのものが無くなってしまう…「壊滅状態」「想定外」という言葉が、恐ろしくも哀しい響きをもって報道されました。心は重く、この原稿を書く手も思うように進みません。

この日は金曜日。一週間の内でも比較的来館者が少ない曜日、あの時間はちょうどお客様がいらつしやらないなかつたのが不幸中の幸いでした。静かな館内でこの会報の原稿執筆に頭を悩ませていた私は、明日からの茨城への出張を控え、早く仕上げねば…心が落ち着かない中でフト、暖房ポイラーの火を落としに行こう、そう思い立ったのでした。機械室前に辿り着くと、すぐ隣の展示室・鷹山宇一コレクション「ランプ館」のガラス戸が「カタカタカタ」と音を立てているのに気付きました。地震…? 急いでポイラーのスイッチを消し、再びランプ館入口に立ったその瞬間、大きな横揺れが来たのです。収まる気配が無いままに、展示ケース内の蛍光灯がチラチラしたかと思うと、瞬時の間に電気が落ちて行きました。それでもまだ揺れは続いています。とても長い時間を感じられました。収まった、かに見えたかたんにその後また何度となく余震が襲いました。為す術もなく、ただただ、上下四方からのテグスだけで守られているランプたちを目の前に、「頑張れ、頑張れ」と念じるばかりでした。

1994年、鷹山宇一記念美術館が開館したその年の12月28日、「三陸はるか沖地震」が発生しました。残念ながら4点のランプが破損。テグスで押さえてはいたもののおつりと切れてしまい、倒れてしまったランプがありました。以降4ヶ月間、ランプ館を閉鎖し試行錯誤、展示ケース内を改良したり、ランプの固定の仕方等々対応策を練りました。ランプ館が再オープンした後も、幾度となく地震に襲われましたが、その都度どこまで持ちこたえられるのか? 約束はされていないのです。地震の都度、真夜中であろうと真先にランプ館へ急行したものです。今回、ランプたちの揺れる現場を目撃して、あと一つ震度が強ければダメだったかも…そう、思いました。

私どもはわずかに1日の停電で済みましたが、このような災害に見舞われた時の危機管理の重要性について深く考えさせられました。この大震災を忘れることなく、教訓として、できうる限りの備えをしなければならぬと、肝に銘じております。

(学芸員 大池亜希子)

このたびの大震災では、多くの方々の尊い命が失われました。ご冥福をお祈り申しあげますと共に、ご遺族の皆様、そして今だ行方分からないご家族をお捜しの皆様のご心痛はいかばかりか、心からお見舞いを申しあげます。災害に見舞われ、苦難の日々をお過ごしの際は、一刻も早く安全と安心、平穏の時間が訪れますよう、一日も早い復旧・復興を祈念いたしております。私共も、今私たちにできることは何かを真摯に考え、尽力いたします。日出する如く、日本、太陽は必ず昇ってきます。思いやりの心を忘れず、助け合いましょ。

思いやりの心をひとつに、助け合いましょ！ 安心、安全の日に向かして、心と力を合わせて

戦後最大の危機が日本を襲いました。未曾有の大震災は、3月11日（金）午後2時46分、マグニチュード9.0という東日本を揺るがす大地震により発生、地震の揺れによる直接的な被害のみならず、その後数十分で押し寄せた大津波は、青森県はもとより岩手県、宮城県、福島県など東北地方を中心に関東地方にまで広範囲に及び、多くの尊い命を奪う甚大な被害をもたらしました。余震も何度となく襲い、不安の日々が続きます。友の会会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。皆様の「ご無事をお祈り申しあげます」とも、「ご心痛のなか日々をお過ごし」の皆様には、一刻も早く平穏の時間が訪れますことを、心よりお祈り申しあげております。

当館周辺の被害は、地震による停電が約1日。このほか大きな被害は見受けられませんが、電池や食料品などの物資不足はもとより、

電気が復旧してもなお電力の供給が不安定な状況下で、ガソリン等の燃料も不足、スタンドに早朝から連なる長い車列を何日見たことでしょうか。福島原発の深刻な状況など、社会全体が不安を抱える今日です。皆様に会報をお届けする頃、少しでも安堵の時間が取り戻せていたなら嬉しいのですが。

当地はたった1日の停電ではありましたが、当たり前前灯りのある夜の有り難さ、安心感を実感させられました。何よりも、停電の中で肩を寄せ合った家族みんなが「生きる」という共通の思いのもと心を一つに過ごした時間でもありました。そして、いかに情報に溢れた世の中で、いかに豊かな恵まれた生活を送ってきたか、深く気付かされました。

大地震後停電中の情報源はラジオが頼りとなりましたが、一体世の中はどのようなことになっているのか？耳を研ぎ澄まし、少しの情報も

逃すまいと必死となりました。震災の状況を伝えるラジオの声から、ありったけの想像力を振り絞ってその光景を思い浮かべます。大変な惨事になっていることを感じながらも、電気が復旧しテレビでその映像を目の当たりにして、かなりのショックを受けました。これ程までとは思っても寄りませんでした。

今は、被災された皆様のために、私たちにできることは何か？を真摯に考え行動に表す時です。できうる限りの支援を念頭に、節電、節約、買い占めをしないなどを心掛け、一人ひとりのほんのちよつとした気遣いが、大勢になればなるほどに大きな力になると信じて、今こそ「思いやりの心」を「○○パーセント稼働させる時なのだ」と思います。目先の睡み合いや争いをやめ、復旧・復興に向けて共に力を合わせ、助け合いましょ。

鷹山宇一記念美術館は大地震後、しばらくの間臨時休館とさせていただきます。4月1日から開館することといたしました。お客様のご来館時のみ展示室等の照明を点灯し、節電に努めさせていただきます。

まず、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、このたびの大地震による当館収蔵品への被害はございませんでした。ご心配をおかけいたしました皆様には、ここにこの報告とお見舞いのお礼を申し上げます。

当館情報等詳しくは、ホームページなどでご確認いただくか、お電話で直接お問い合わせいただきたく存じます。職員は月曜定休日以外通常どおり在勤しておりますので、ご不明な点など何なりとご連絡ください。



17年前の三陸はるか沖地震で被害に見舞われたランプたちも今回は持ちこたえてくれ、難を逃れました。

当館情報のご確認は

●TEL●
0176(62)5858
●e-mail●
info@takayamamuseum.jp
●鷹山美術館HP●
http://www.takayamamuseum.jp/

4月1日から入館時間
月曜休館日を除く
10:00-17:30

*4月中は、鷹山宇一をはじめとする当館収蔵作品展をご鑑賞いただけます

***** 鷹山宇一記念美術館平成23年度展覧会スケジュール(予定) *****

現在、このたびの大震災による復旧作業、復興へ向けた様々な活動と懸命な努力が続けられております。社会全体が混迷を極める中で、当館でも、大地震発生直後から臨時休館とさせていただいておりましたが、4月1日より、お客様のご要望に随時お応え出来るよう体制を整え、開館することといたしました。しかしながら、出来る限りの節電、節約に努めさせていただきたく、お客様が来館されてから照明を点灯するなど、臨機応変に対応して参りたいと存じます。ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、春の特別展として4月17日から予定しておりました「パレットと絵画展」は会期を延期し、5月3日(火・祝)から開催することといたしました。H23.3.31現在の平成23年度の事業予定を下記にご案内させていただきます。変更等も想定されますので、詳しくは直接美術館までお電話いただくか、当館ホームページの情報をご確認くださいませようお願い申し上げます。被災地の復興に向けて当館も微力ながら寄与いたしたく、日々心掛け、運営をして参りたいと存じます。今私たちに出来ること… 思いやりの心をひとつに。助け合ひましょう！

会期	事業内容	休館日
4/1(金)→4/29(金・祝)	常設展/ミュージアムコレクション 鷹山宇一と七戸ゆかりの画家たち展	月曜
4/30(土)→5/2(月)	展示替え休館	
5/3(火・祝) →6/26(日)	笠間日動美術館コレクション マティス、ピカソ、ダリ、熊谷守一… 巨匠たちの素顔、色彩の宇宙～パレットと絵画～展	無休
6/27(月)→7/2(土)	展示替え休館	
7/2(土)18:00開場/18:30開演	北村哲朗(バリトン)・内藤敏子(チター) 演奏会	
7/3(日)→9/19(月・祝)	常設展/ミュージアムコレクション 鷹山宇一と七戸ゆかりの画家たち展	月曜
9/20(火)→9/22(木)	展示替え休館	
9/23(金・祝)→10/30(日)	平山郁夫展～故郷からシルクロードへ～次代への継承	無休
10/31(月)→11/2(火)	展示替え休館	
11/3(木・祝)→11/13(日)	第71回国際写真サロン展	無休
11/14(月)→11/19(土)	展示替え休館	
11/20(日)→1/22(日)	第11回鷹山賞児童作品展/第11回地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展	月曜
1/23(月)→2/3(金)	展示替え 館内整備のための休館	
2/4(土)→4月中旬	常設展/ミュージアムコレクション 鷹山宇一と七戸ゆかりの画家たち展	月曜

被災地の復興と心の平安をお祈りして：
「パレットと絵画」展

5月3日(火・祝)↓6月26日(日) 会期中無休

■入館料 一般500円、大学専門学校400円、高校生以下は無料
※友の会会員様は特典とおりに入館いただけます

「パレットと絵画展」は、このたびの「東北地方太平洋沖地震」被災地の復興に微力ながら寄与いたしたく、本展覧会中、募金箱を設置するなど、その活動に協力しようというものです。マティス、ピカソ、ダリ、熊谷守一、東郷青児：国内外の近現代作家による絵画とパレットを、笠間日動美術館収蔵作品からご紹介いたします。

笠間日動美術館は、日本画界の草分け的存在である日動画廊の創業者・長谷川仁氏によって郷里・茨城県笠間市に設立されました。その充実のコレクションの中でも、画家の描画道具の一つであるパレットのコレクション



▲
【巨匠たちのパレット】
林武 熊谷守一
東郷青児
香月泰男

は、1967年に日動画廊創立40周年を記念して長谷川氏が親交を深めた画家たちに願ひ出て譲り受けて以来、画家本人や遺族などからの寄贈が相次ぎ、現在では350点以上ののぼるといふ世界に例のない貴重なコレクションとして知られております。色とりどりに彩られるパレットには、一人ひとりの感性の表れである「色感」が顕著に示され、パレットに配される絵の具の状態は、言わば画家の個性そのものと言つていいでしょう。そこには、完成された作品とはひと味違う、画家の性格やその制作の秘密を窺うことが出来る、ありのままの魅力に溢れています。

本展では、これらパレットと絵画とをあわせて鑑賞することで、これまでとは違った画家の魅力を再発見していただくとともに、新たな感動を味わっていただくというものです。

また、郷土の画家鷹山宇一を顕彰する当館ならではの特別展示として、画家の秘密の宝庫である仕事部屋「鷹山宇一のアトリエ」を再現し、鷹山の作品はもちろんです、同じ時代を共に生きた鷹山ゆかりの画家たちのパレットを日動美術館コレクションよりご紹介します。

巨匠たちの作品とその素顔に迫る本展が創出する「美」空間と時間で、広く多くの皆様に安らぎの一時をお届けできたなら幸いに存じます。

被災された皆様の、安全の日々と心の平安を一刻も早く取り戻すことが出来ますよう、心からお祈り申し上げます。

美術館 ●○○●●
ワークショップ ●○○●●
ものづくり教室 かさ○○●

ウッド カッターズ クラブ
WOOD CUTTERS CLUB
—木こりの工房—
美術館ま〜っと!くらぶ

「WOOD CUTTERS CLUB
—木こりの工房—」

「こちらの教室からは、1月9日、2月6日に行った「ミニチェストづくり」の様子をご紹介します。



ウッドカッターズクラブは、平成20年度から22年度まで、3年間を通じて『公益信託青森県ボランティア基金』より助成を受けて開催してきたものです。ツールペイントを学習の中心に据え、自分の部屋で使える小物を制作してきました。

その集大成となる今回は、9つの引出しからなるミニチェストづくりに挑戦です。これまで制作した作品とおそろいにするかどうか：色選びが慎重に行われました。作業に入ると、完成イメージに向かって黙々と手が動きまわります。「ヤスリかけ」「仕上げ」まで、毎回行っている復習もすっかり頭の中に入りました。この3年間で学んだ経験は、皆さん



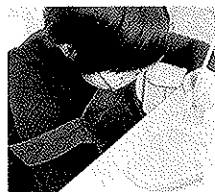
の「知恵のタンス」に蓄積され、いつかどこかで役立つ「引出し」として活かされたなら、望外の幸いです。

「実新館ふらっとく」

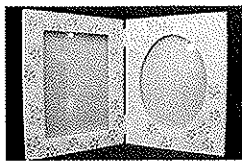
あ〜と〜く〜らぶからは、1月22日に行った「ツールペイント」の様子をご紹介します。



「ウッドカッターズクラブ」で制作したツールペイント作品を、ワークショップ会場である当館2階工房に展示しているのですが、これらに興味津々の「あ〜と〜く〜らぶ」参加者が非常に多いため、初心者向けの講座を企画しました。



ツールペイント初参戦のみなさんには、基本の手順どおりに「ヤスリかけ」「下地剤」「地塗り」↓「模様つけ」と作業を進めていただきました。地色や模様の配色が思案のしどころ。模様つけでは、初心者でも挑戦しやすい「ドット」という技法を学びました。大人も子どもも夢中になるとみんな一緒に作業。試行錯誤する声が工房に響きました。春を先取りしたような色とりどりの作品が完成しました。



アートツアーが

今年度立ち上げた新事業「アートツアー」は、当館ゆかりの画家作品、資料等への理解を一層深めていただく「アートツアー」をメインテーマとした毎月5日の講座から、感想を「紹介したいです」。

「華陽の馬」

盛田 駿造

上泉華陽には馬の画家としての名声が定まっている。各地の競走馬の生産牧場には、必ずと言っていい程、競走馬の肖像画がある。首を左向きにして立っている。関係者は「何号」「馬の名前」と判るのである。人間の肖像画と同じである。

画伯は人間の肖像画も描いている。私の知っているのは七戸町にある数点であるが、実に本人モデルの人間性がそのまま描かれており、傑作だと思う。3月5日(土)、美術館主催のアート巡りに参加し、五戸町三浦牧場にある上泉画伯の壁画を見た。六疊程の二部屋つぎの壁二面に、華陽の馬が描かれている。漆喰の壁二面には墨で2頭の馬がそれぞれ躍動感いっぱい、また、部屋の天井と鴨居の間の壁に、部屋をぐるりと一廻りして描かれている「競走馬の一生」は、誕生から競馬に優勝するまでを主題に実に生き生きと描いている。一方の部屋には、七戸畜協のひばり牧場を彷彿とさせる広大な平野の群馬、沼を泳ぎ渡る群馬が描写され、群馬の足音が大地から響いてくるように、馬を知り尽くしている画伯ならではのものである。如洋にも勝るとも劣るものではないと思う。

また、畳一帖分の縦長の壁には、9頭の馬を「く」の字に配置して描いている。「馬く行く」「つまり」「上手く行く」ようにとのこと、遊び心も面白い。

現在鷹山美術館には七戸畜協所有の上泉画伯制作「七戸(南部馬産)地方農家年中行事」が保管されている。馬を中心とした農家の生活十二ヶ月を描いたものであり、この作品といい、このたびの三浦牧場の競走馬の一生といい、馬と人の生活を生き生きと描ききつており、風俗画家としての優れた面を示している。

これまで壁画を大切に保管されてきた三浦牧場の「労苦」に、深く感謝申しあげると共に、今後とも壁画保存を何卒よろしくお願ひしたいと思います。

(鷹山宇一記念美術館友の会会長)



美術館日誌

【12月】

- ▼1日/七戸町立城南小1学年30名引率教員2名様、5学年46名引率教員2名様ご来館。インターネット接続作業(「ヒスコムモバイル」。東北放送加藤様ご来館、取材打合せ)
- ▼2日/DC打合せ会議、大池出席(観光交流センター)
- ▼3日/JR東日本「トランヴェール」2月号掲載のため当館を取材。七戸町立城南小学校6学年36名引率教員2名様ご来館
- ▼4日/東北新幹線七戸十和田駅開業。オープニングセレモニーに戸館館長出席
- ▼5日/佐伯、十和田市出張座談会「図工と美術を考える」出席、現美
- ▼6日/佐伯、十和田市出張(観光圏HP開設に伴う説明会)
- ▼8日/七戸町立城南小学校4学年40名引率教員2名様ご来館。当財団平成22年度第3回評議員会開催(2階工房)
- ▼9日/Jサポート来館、電子化意識調査。大池青森市出張(ごきん刺し展覧会視察、打合せ)。電気設備定期点検(佐藤電気)
- ▼10日/遊蝶記。無料開館実施、「遊蝶記の集い」開催。アートツア「鷹山宇二を知る」開催
- ▼11日/東北放送「ウォッチン!みやぎ」(1月10日放送)当館を取材。和

歌山近代美術館学芸員植野様ご来館。佐伯青森市出張(青い森フアノド中間報告会)。当財団経理担当職員面接試験。七彩会油絵教室開催

- ▼12日/WOOD CUTTERS CLUB「ニコパージュ石鹸づくり」開催
- ▼14日/消防設備定期点検(昭和電気)。七戸町観光交流センター・クリスマスフェア打合せ(佐伯出席、観光交流センター)。十和田市立法奥小学校野坂先生ご来館、図工ゼミ打合せ
- ▼15日/佐伯、織川、八戸市出張(菱刺し研修会、ユートリー)
- ▼16日/仙台放送菅原様ご来館、取材打合せ
- ▼17日/十和田市立現代美術館長高屋様、菅原様来七、三館連携事業打合せ(七戸町役場支所)
- ▼21日/ATV絵馬館取材。七戸町社会教育委員6名様ご来館
- ▼23日/WOOD CUTTERS CLUB「キヤンドルづくり」開催
- ▼24日/佐伯おいらせ町出張(上北図工部会冬季研修会講師、おいらせ町立木内々小学校。WEB東奥当館を取材)
- ▼25日/友の会会報60号納品、発送作業。東奥子ども新聞第24号(1月28日発行)取材のため記者小原麻友香さん十和田市南小6年ご来館
- ▼26日/濱田進展後期展示替え作業(27日迄)
- ▼27日/JTB主催旅行客10名様ご来館、大池解説
- ▼28日/濱田進展後期展示初日。濱田進先生京都から日帰りでご来館。近田会計山本氏来館

【1月】

- ▼4日/戸館館長七戸町新年祝賀会に出席
- ▼8日/WOOD CUTTERS CLUB「ニチエストづくり」開催
- ▼13日/NHK青森絵馬館を取材。電気設備定期点検(佐藤電気)
- ▼14日/仙台放送BSフジ「わがまま!気まま!!旅気分」(2月5日放送)当館を取材、こうちゃん来館
- ▼15日/友の会海外研修旅行「オランダヘルギー紀行」説明会開催。友の会役員会、友の会新年会開催(杉屋敷奥山)。重油2キロリットル納入
- ▼17日/当財団平成23年度第1回理事會開催(杉屋敷奥山)
- ▼18日/特別展打合せのため東映市橋様来館。「七戸まちづくりの会」慰労会(佐伯出席、かある寿司)。戸館館長青森市出張
- ▼19日/JR「ジパング倶楽部」3月号掲載のため当館を取材
- ▼20日/七戸養護学校生徒9名引率教員3名様ご来館
- ▼22日/あーつとーくらぶ「ツールペイント」開催
- ▼24日/戸館館長東京出張
- ▼25日/館内整備休館(2/4迄)
- ▼30日/濱田進展作品返却のため集荷作業(東京マルイ美術)

期点検(佐藤電気)

- ▼4日/青森県立美術館、静岡県立美術館、島根県立石見美術館主催特別展「ロボットと美術展」へ貸出の鷹山木版3点返却
- ▼5日/常設展「七戸ゆかりの画家たち展」初日(4月10日迄)
- ▼6日/WOOD CUTTERS CLUB「ニチエストづくり」開催
- ▼10日/戸館館長、佐藤、三沢市出張(三館連携事業実行委員会、寺修記念館)
- ▼14日/佐伯、織川東京出張(WS研修、2/16日迄)
- ▼15日/NHK青森、絵馬館と上泉作品を取材。重油2キロリットル納入
- ▼19日/アートツア「芸術大園あおもり発見の旅」開催。あーつとーくらぶ「七宝焼きづくり」開催
- ▼20日/七彩会油絵教室開催
- ▼22日/自動ドア定期点検(ナフコ)
- ▼23日/ご当地ストラップづくり(青森県観光連盟4名様)。濱田進展作品返却(東京マルイ美術)。近田会計山本氏来館
- ▼25日/近田会計山本氏来館
- ▼27日/全国美術館会議事務局小林様ご来館

【2月】

- ▼1日/ユアテック室外機移動工事
- ▼3日/絵馬懇談会開催。電気設備定

新任職員のご紹介

- 織川孝子
教育普及を中心とする業務全般のサポートをしております。(ご紹介が遅れました…H22.4.1~)
 - 佐藤睦子
当財団経理庶務を担当させていただきます。(H23.4.1~)
- 在職中、人柄が優しく、仕事に真剣に取り組んでくださいます。よろしくお願いします。

当財団

平成23年度研修旅行のご案内

「光を描く 印象派展」 「美術館が解いた謎」

2011年7月 青森県立美術館 開館5周年記念

平成23年度友の会研修旅行の予定をご案内致します。皆様の美術鑑賞計画のご参考にしてください。友の会主催の研修旅行にご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

平成23年度 第1回研修旅行

日時:平成23年7月24日(日)予定

研修先:青森県立美術館

展覧会名:光を描く 印象派展

募集:会報第63号6月15日号で詳細案内、募集

☆特別先行割引券を限定販売☆

友の会では、上記の研修旅行に参加できない会員の便宜を図るため、本展の特別先行割引券(1,000円当日券は1,500円)を事前購入致しました。

鷹山宇一記念美術館受付で友の会会員様限定で販売致します。但し、先着50枚の販売です。お早めにご利用下さい。



「縫い物をするジャン・ルノワール」
ピエール＝オーギュスト・ルノワール作

本展はルノワール、ゴッホ、マネ、モネ、ゴーギャン、シスレー、セザンヌ、モリソン等、印象派・ポスト印象派がせいぞろい。「奇妙な塗り残しのわけは?」 絵の具の下に隠れた線の意味は?」等、創作のひみつを発見!

友の会会員登録の更新と

新規会員登録入会お誘いのお願い

平成22年度も会員の皆様には、友の会運営に多大なお力添えをいただき、誠に有り難う御座います。新年も鷹山宇一記念美術館の応援と会員の皆様に喜んでいただけるよう研修旅行、講演会等を企画し、微力ながら地域文化の発展に寄与していく所存でございます。平成23年度更新手続きは、美術館窓口と郵便振替により行っておりますのでよろしくお願ひ致します。

○友の会の事業内容

- ① 県内外美術館研修視察旅行(年2〜3回)
- ② 海外美術館研修旅行(第5回海外研修旅行 2011年4月 オランダ・ベルギー美術紀行)
- ③ 美術館作品購入基金への協力
- ④ 鷹山宇一記念美術館ボランティア協力
- ⑤ 会報の発行
- ⑥ その他(美術講演会の開催等)

○一般会員

年会費 3千円
特典 ① 無料入館券3枚。会員証提示により入館料2割引

○特別会員

年会費 1万円
特典 ① 一般会員特典に加えて

- ① 会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者1名まで無料入館
- ② 新規加入の方に画集1冊贈呈

○賛助会員

年会費 2万円
特典 ① 一般会員特典に加えて

- ① 会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者3名まで無料入館
- ② 新規加入の方に画集1冊贈呈
- ③ 特別企画展の都度、招待券を贈呈

◇詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

★オランダ・ベルギー美術紀行を延期

この度の東北地方太平洋沖地震の影響のため、4月10日出発予定の第5回研修旅行「オランダ・ベルギー美術紀行9日間」の催行を、延期致しました。

当研修旅行については、催行時期を検討の上実施致します。詳細は改めて会報でお知らせ致します。

編集後記

★3月11日発生の東北地方太平洋沖地震により被害を受けられました方々に心よりお見舞いを申し上げます。
★美術館では、作品・建物に被害は全くなく、安心しました。
★会報第62号の発行が遅れましたことお詫び申し上げます。(E.T)